

パラリンピック啓発講演会・体験会 ～車椅子バスケットボール～



品川区と（公財）品川区スポーツ協会は平成 29 年 3 月 4 日（土）、品川区制 70 周年を記念し、パラリンピック啓発講演会・体験会を区立戸越体育館（豊町 2-1-17）で実施しました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区内全体の機運を高め、車椅子バスケットボールを通じて障害者スポーツへの理解を深めるのが目的で、今回約 180 人が参加しました。



講演会では、車椅子バスケットボール元日本代表の三宅 克己(みやけ かつみ)選手と神保 康広(じんぼ やすひろ)選手を講師に招き、“己を信じ、行動する大切さ”をテーマに「夢をあきらめないこと」を中心にトークセッションを行いました。

車椅子バスケットボール体験会では、講演会参加者の中から 32 人が参加しました。実際に、車椅子に乗りドリブル、パス、シュートを体験した中学生からは「車椅子で動くのが難しかったけれど、楽しかった」と、車椅子バスケットボールの魅力を満喫した様子でした。体験会后、両選手のサインを求める参加者の長い列が続いていました。



また、受付時、参加者全員に、東京 2020 大会のオフィシャルパートナーで、今回、このイベントに協賛いただいた東京ガス株式会社（本社：港区）からクリアファイルとペンが、区からはオリジナル手ぬぐい、ピンバッジ等が配付されました。その他、会場内に同社が用意したパラリンピック競技のパネルが展示されました。

